

(株)三雲製作所

金型・板金・プレスの独立体制で 自主製品も開発展開

▼ 当社の加工技術の強み

小規模ながら、自動車部品を中心に、精密板金試作・金型設計製作・プレス加工とワンストップ対応にて製作に携わっている。特に金型技術に力を入れ、品質精度や生産の合理化に定評がある。現在は企画開発部門を設け、メーカーとして独自性の高い新商品づくりにもチャレンジしている。

▼ モノづくり人材育成の取り組み

教育面は外部の人材育成セミナーなどを活用している。技術面は工業協会主催の勉強会や現場のベテラン技能者とマンツーマンで育成を行い、技能資格を取得させている。

▼ 今後、強化を図りたい分野について

窓口となる営業部門では、IT・スマートデバイス・クラウドなどを活用。顧客との情報共有化、問合せから見積りなどにスピード感をもって対応し、営業生産性向上と販売力強化に努めている。また、その情報を製造部門と共有することで、課題の解決方法や合理的なご提案など付加価値を高める対応を目指している。

経営全体としては、会社の「可視化」に力を入れていく。会社の目標や方向性や各部門が進行中の業務について全員が全体を「見える化」することにより、各自が市場の変化に対応しやすい環境をつくり、スピード経営を目指している。

会社概要

会社名 (株)三雲製作所
 代表者 代表取締役 三雲啓志
 所在地 〒335-0011 埼玉県戸田市下戸田 1-15-14
 TEL 048-442-1620
 資本金 2,000万円
 売上高 1億2,500万円
 従業員数 15人
 事業内容 精密板金試作、金型設計製作、精密プレス加工、自社商品の開発・製造・販売
 URL <http://www.mikumo.biz>



代表取締役
三雲啓志

片サドル PRO(ケーブル支持金具)

部品の特徴

φ13.5~φ36.5までの丸型電線および電路資材の固定に用いる金具で、鉄製とSUS 304製の2タイプある。市場のニーズに応えるための独自のアイデアを提案し、製品化した。東京のスカイツリーにも採用され全国から取引が急増している。月産数は100万個(写真1, 2)。



写真1 製品外観

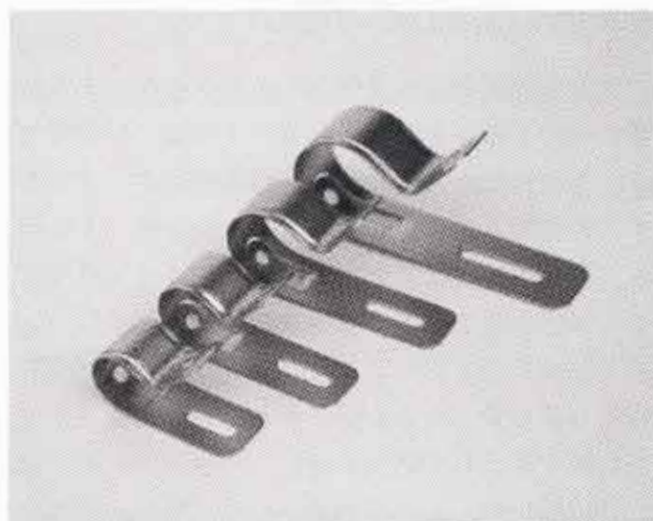


写真2 サイズ違いの製品

開発の動機

取引先からの要望を受け、自社で開発し試作品を製作した。何度も試作を繰り返し顧客の要求を製品化できたことで受注につながった。

実現のポイント

既存製品で10サイズあったものを4サイズに集約し在庫のムダを削減。苦労した点は、複数の外径を1つの形状で隙間なくしっかりと固定するための形状に加工するところ。最小径と最大径をバランスさせ設計し、調整を含め数百の試作品から理想的な形状をつくりこんだ。また長期的な支持力を達成するために立体的なリブを提案したが、複雑なケーブルの動きをフォローするリブ形状が難航。缶ジュースのプルトップからヒントを得て、ようやく安定した支持力を実現するリブ形状に達した。

また、販売後には新たな課題が見つかった。この製品はビス1点止めのため、配線の曲部では支持金具がケーブルの強度に負けて動いてしまうことがあった。そこで試行錯誤し2点止めができるように再度開発し、場面に応じて使用できるように工夫した。

加工条件

金型：順送金型

使用機械：80tリンクモーションプレス/45tトルクバックプレス/25tトルクバックプレス

効果

順送プレス加工による生産効率化とコスト競争力の強化